

学校経営推進費 事業計画書

標記について、下記のとおり提出します。

1. 事業計画の概要

実施課程名	支援学校
取り組む課題	生徒の自立支援
評価指標	・授業における情報保障の環境拡大及び学校アンケートによる満足度の向上 ・ICT活用がある授業数の拡大及びICT活用能力の向上
計画名	見て、感じて、実現へ～聴覚障がい児への情報保障及び日本語力・学力・生活力の定着～

2. 事業計画の具体的内容

学校経営計画の 中期的目標	2 学力の保障と向上 1) ICTを整備・活用し、視覚を大切に「見てわかる授業」づくりを推進する。 ア 全教室に据え置き型の電子黒板を整備する。 イ 校内無線LANの教室への配備率を100%にするとともに、全教室にPCを整備する。(現状 約50%) ウ 全教科のデジタル教科書を配備し、ICT活用の授業効果を最大限に高める。		
事業目標	『見て、感じて、実現』をするために、以下の対応を行う。 ①主使用教室に取り付け型電子黒板、書画カメラの設置(全学年教室に1台以上設置) ②小学部、中学部の授業において、言語力を高めるため国語科のデジタル教科書を全学年配備。 ③小学部、中学部の音楽の授業において、「見て、感じて」が実現できるようにデジタル教科書を配備。 その結果、「学校教育自己診断や授業アンケート等において、幼児児童生徒、保護者の「授業における満足度」の肯定率を平均80%以上、教職員「ICT機器活用」の肯定率を90%以上。漢字検定の合格者数の向上。ICT活用能力授業研究、教材開発において教職員の聴覚障がい教育の専門性の向上。」を付加しその実現をめざす。		
取組みの概要	導入・整備する 設備・物品	電子黒板機能付き短焦点プロジェクター(壁取付式):10台 電子黒板機能付き短焦点プロジェクター電子黒板(移動式):3台 書画カメラ:10台 デジタル教科書(国語、音楽):国語9学年、音楽9学年	
	取組内容	前年度	ICT教育部をH26年度に立ち上げ、電子黒板機能付き短焦点プロジェクターやiPad、デジタル教科書を使用し、聴覚障がいがある生徒が「見てわかる授業」として効果的な方法を検討、調査、分析した。また公開授業を毎年行い、併せて校内の教職員向けの研修を学期1回必ず実施し、ICT機器を活用した授業の取組みができるよう環境整備を行った。結果、電子黒板を使用した授業スタイルの方が、学習環境・関心・意欲が高まることが判明。
		初年度	設置場所の検討(～8月)、ICT教育部の先行取組み(～7月) 教職員への電子黒板使用のための研修会(8月) ICT教育部+主担者による教育実践を実施(9月～)、授業アンケートの分析・情報共有(12月、2月) 校内公開授業を実施(2月)、次年度に向けて活用・改善等の情報交換会(3月)
		2年目	小学部・中学部の全教員による授業研究・情報共有会(5月～) 教職員へのICT活用教育方法の研修会(8月、1月)、近畿聾教育研究会実践発表(8月) 授業アンケートの分析・情報共有(7月、12月)、公開授業を実施(2月) 次年度に向けて活用・改善等の情報交換会(3月)
		3年目	小学部・中学部の全教員による授業研究(5月～)、近畿聾教育研究会実践発表(8月) 全日本聾教育研究会実践発表(11月)、教職員へのICT活用教育方法の研修会(8月、1月) 授業アンケートの分析・情報共有(7月、12月)公開研究授業・研究討議を実施(12月)
取組みの 主担・実施者	取組みの主担・実施者 ICT教育部(幼稚部、小学部、中学部)、小学部・中学部(国語科、音楽科、理科、技術科)		
成果 と評の 価 指 証 標 方 法	初年度	学校教育自己診断、授業アンケートより ①児童生徒記入、全保護者記入の「授業における満足度」の肯定率を平均70%に引き上げる。 ②教職員「ICT機器活用」の肯定率を80%以上に引き上げる。 漢字検定⇒(小:6級、中:5級)合格率70%以上 音楽⇒小:全国ろう学校合奏コンクール入賞、わたぼうし音楽祭入賞をめざす	
	2年目	学校教育自己診断、授業アンケートより ①児童生徒記入、全保護者記入の「授業における満足度」の肯定率を平均75%に引き上げる。 ②教職員「ICT機器活用」の肯定率を85%以上に引き上げる。 漢字検定⇒(小:6級、中:5級)合格率75%以上 音楽⇒小:全国ろう学校合奏コンクール入賞、わたぼうし音楽祭入賞をめざす	
	3年目	学校教育自己診断、授業アンケートより ①児童生徒記入、全保護者記入の「授業における満足度」の肯定率を平均80%に引き上げる。 ②教職員「ICT機器活用」の肯定率を90%以上に引き上げる。 漢字検定⇒(小:6級、中:5級)合格率80%以上 音楽⇒小:全国ろう学校合奏コンクール入賞、わたぼうし音楽祭入賞をめざす	

学校番号

S03

3. 事業費

事業費総額	5,397,339	円
-------	-----------	---

積算内訳

科目(節)	番号	内訳	1年目	2年目	3年目	単価	数量	金額
1 報償費	1	講師謝礼(企業)	○			¥10,000	4	¥40,000
	2							
	3							
								小計
2 旅費	1							
	2							
	3							
								小計
3 消耗需用費	1	書画カメラ				¥68,730	10	¥687,300
		同上 消費税						¥54,984
	2	デジタル教科書(国語、音楽)				¥1,123,740	1	¥1,123,740
		同上 消費税						¥89,899
	3	印刷製本費(報告集作成)				¥69,400	1	¥69,400
								小計
4 維持需用費	1							
	2							
	3							
								小計
5 役務費	1							
	2							
	3							
								小計
6 委託料	1							
	2							
	3							
								小計
7 使用料及び賃借料	1							
	2							
	3							
								小計
8 備品購入費	1	電子黒板機能付き短焦点プロジェクター(壁取付式)				¥242,200	8	¥1,937,600
	2	電子黒板機能付き短焦点プロジェクター(壁取付式)				¥302,360	2	¥604,720
	3	電子黒板機能付き短焦点プロジェクター(移動式)				¥180,960	3	¥542,880
		同上 消費税						¥246,816
								小計
9 工事請負費	1							
	2							
	3							
								小計
10 負担金・補助及び交付金	1							
	2							
	3							
								小計
							合計	¥5,397,339

積算内訳